

平成13年6月29日

実践計画書

新潟県長岡市立表町小学校

教諭 篠田 賢一

1 企画テーマ名称

(主題) 学校と地域の歴史をつなぎ、未来と世界とを結ぶ Future School の実践

(プロジェクト名) 未来の学校をつくろう

2 企画概要

学校は地域の力に支えられている。当校は今年度創立130周年を迎え、学校の歴史を振り返る貴重な機会である。そこで、地域の歴史と学校との歴史の関連や時代背景を地域の方と対話を通し取材し、情報機器を使ってまとめ、データベース化する。さらに過去から未来に目を向け、学校の枠や国を越え、複数校とネット上に学校「Future School」を創造する。さまざまな情報メディアを活用しながら、学校と地域のあり方、他校のよさ、海外との交流から、将来自分たちに必要であり、学びたい学校像を共同で提案する。

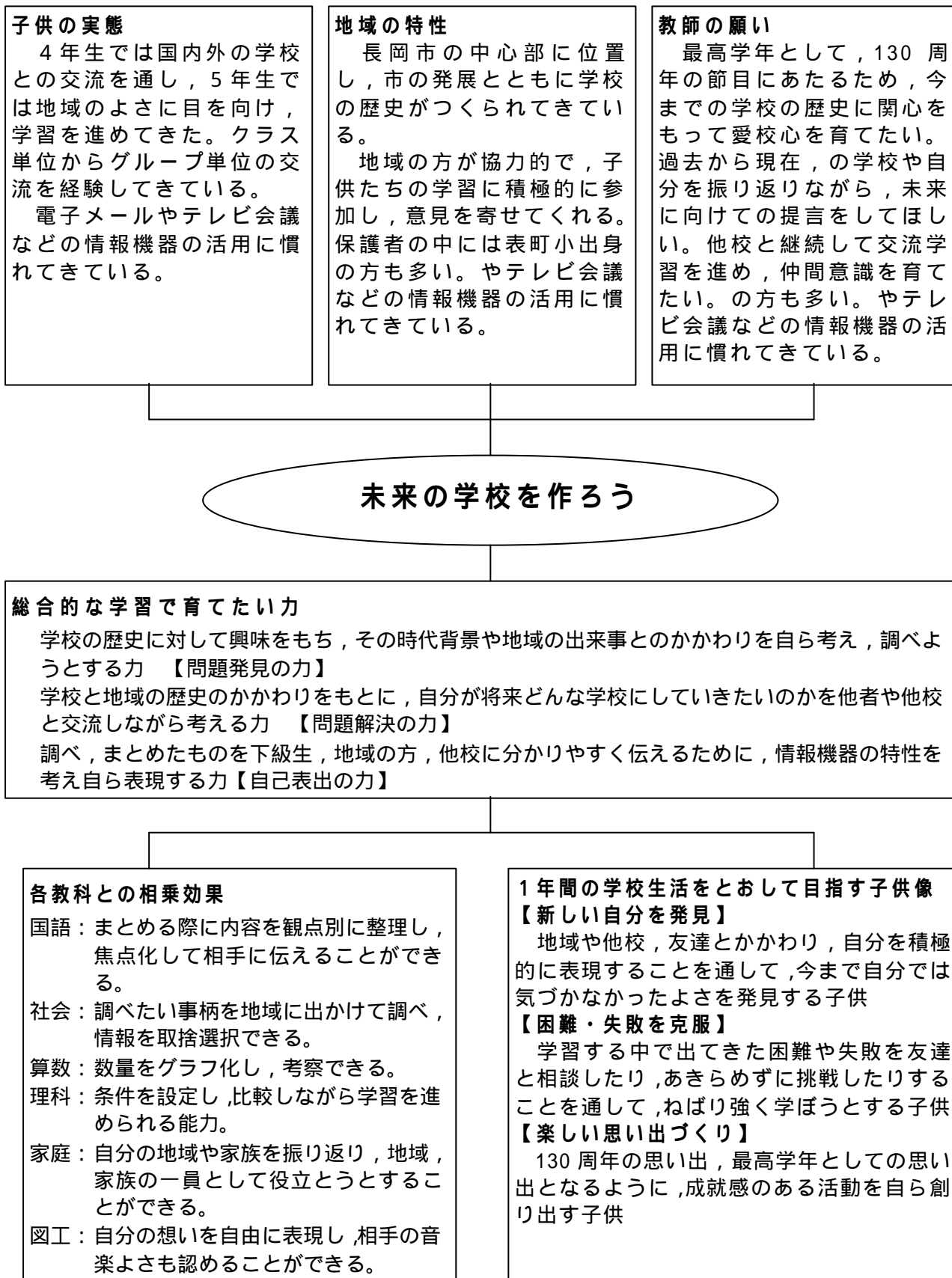
3 企画の特徴

- ・積極的に地域に出向き、地域の人とかかわりをもちながら学校と地域の歴史を調べ、だれでもが使いやすいデータベースを作成する。
- ・取材したデータを様々な情報メディアを使い、デジタル化することで、将来にわたって活用したり、検索したりすることができる。
- ・昔の学校と今の学校を比較し、交流によってできた友達と一緒にネット上の学校「Future School」を作り、自校のよさを情報交換して、共同で学習を進める環境をつくる。

4 協力学校名，参加児童学年，指導者

新潟県長岡市立表町小学校	6年生	篠田賢一，佐々木潤
山形県東村山郡山辺町立鳥海小学校	5・6年生	東海林新司，新目 巖
新潟県加茂市立加茂南小学校	5年生	濱井民子
ジャカルタ日本人学校	5年生	富樫 朗

5 ねらいに迫るための全体構想



6 企画の期待される成果

- ・子供たちと地域の方と共同でつくる学校と地域の歴史データベース。
- ・子供たちの活動過程を重視したホームページによる地域の調べ方の情報提供。
- ・ネットを通して、他校や地域の方と交流しながらサークル活動する未来の学校「Future School」の提案。

7 実施内容

学校と地域の歴史データベースづくり

(1) 学校の歴史調べ(5月)

写真、ビデオ、年表、文集等で他校とは違う特徴的な歴史の出来事を調べる。ホームページで経過報告をする。

- ・地域の方からアドバイスをもらい、他校の意見を活動の参考にする。

(2) 地域の歴史調べ(6月)

地域の方への取材。その当時の様子等を語ってもらう。デジタルカメラ、ビデオで記録し、データのデジタル化を行う。

- ・編集したり、加工したりしたものは地域の方に見てもらい、使用許可の承諾を得て、批評してもらう。

(3) 学校と地域の歴史のデータベース(7月)

学校と地域の歴史の関連性をHTMLでリンクさせ、プレゼンテーションソフトで要約する。

- ・伝える対象を明確にし、自校の子供用、地域への紹介用、他校への公開用などにわけ、それぞれふさわしい内容に編集する。実際に見てもらい、評価してもらう。

(4) 情報提供(7月)

自校での発表、地域や他校への紹介。

- ・電子掲示板、メール等で意見をもらいながら、よりよい内容に更新していく。

未来の学校「Future School」の活動

(1) 他校への呼びかけ(7月)

今の学校とは違う、ネット上で学習する未来の学校「Future School」を提案する。

- ・未来の学校が今の学校と何が違うのかを明確に示す。

(2) 自校のよさの紹介、データベース・ホームページの活用(9月)

作成したデータベースをもとに、互いの学校のよさを認め合う。

- ・テレビ会議等でメッセージ性のある伝え方を工夫する。

(3) 未来の学校のルール作り(10月)

未来に必要であり、こんな学習がしたいという「Future School」を実現するためのお互いを守るべきルールやマナーを考える。

- ・現在のネット上でのルールやマナーと比較しながら進める。

(4) サークル活動の募集(11月)

一人一人の活動したい内容を発表し、メンバーを募る。テレビ会議等で表現力を鍛

える。

- ・ ネットのよさを活用した活動であるか照らし合う。

(5) 共同活動(12月～1月)

自分たちで課題を見つけながら、共同で期日までに成果を出す。

- ・ メール、ビデオ、テレビ会議等情報メディアの特性をうまく利用しているか。

(6) 共同学習発表(1月)

テレビ会議を使って、共同で学習発表をする。

- ・ 伝えるべき内容を精選して、分かりやすく伝えているかを考える。

(7) 「未来の学校」共同提案(2月)

ホームページ、DVD、CD-ROMを活用して、子供たちが考えた未来の学校「Future School」の学校像と実践をまとめる。

- ・ 子供たち一人一人の感想や思いを取り込んだ形になるように配慮する。

8 実施体制

(1) 実施スケジュール

5月：参加校、協力機関との打ち合わせ、ホームページ立ち上げ

6月：取材開始、他校とのネット上での自己紹介、テレビ会議

7月：データベース化開始、Future School呼びかけ・ルール作り、中間発表

8月：担当者会議(山形)、第1次Future Schoolホームページ

9月：ネット上でのサークル活動、テレビ会議フリートーク、
学びたい学校のイメージ化

10月：担当者会議(新潟)

11月：第2次Future Schoolホームページ完成、地域への発表

12月：テレビ会議での共同提案発表、DVD完成

1月：担当者会議(山形)、DVD配布

(2) 実施環境

地域への取材...デジタルビデオカメラ等を使い、MPEGに変換し、DVDにまとめる。

データベース...プレゼンテーションソフトやHTMLにより、一覧性と検索機能を強化。

交 流テレビ会議ソフト、メーリングリスト、掲示板、共同ホームページ。

最終提案.....DVD、検索機能を強化したCGIホームページ、思い出CD-ROM。